



「お住まいの塗り替えにお役に立つ情報を毎月発信しています！」

ニュースレター

## おまかせください！！

2016. 第 97 号

### ■2016年“最終号”です！

いつもお読みいただきありがとうございます。2016年も、あと数日と数えるほどとなりました。毎年の事ですが、今年もこのニュースレターを通じて、多くの方々と出会う事が出来ました。改めて、ありがとうございました。

### ■来年“塗装工事をしよう！”

さて、お読みいただいている方の中には、「来年あたり、塗装工事をしようかな・・・。」と、お考えの方もいらっしゃるかと思います。

そんなお考えの方々へ。お悩みの一つに「来年のいつ頃がいいのかな…」という疑問はございませんか？実際に、お客様から工事のご相談をいただいた際、多くのお客様が“気にしている”のが、この様な時季のお話。

今号では、このお悩みに関してお答

え致します！

### ■冬のキーワード「晴天」「乾燥」

まずは、実感しやすい今の時季“冬”からご説明です。寒い中での塗装作業となりますので、塗料への悪影響を心配される方もいらっしゃると思いますが、東京の冬の寒さ程度では、塗料の品質に影響を受けることはありません。

冬のメリットとして挙げられる点は、この時季ならではの「晴天」と「乾燥」にあります。

一年のうちで、晴れる日が最も続きやすいこの時季ですから、作業を順調に進めることが出来ます。また、空気が乾燥していますので、塗った塗料も乾きやすくなります。

家庭菜園やお花を一休み出来るこの時季を狙ってご依頼いただく方もいらっしゃると思います。

一方で、デメリットを挙げるならば、

日没が早い時季なので、一日の作業時間が多少短くなる点でしょうか。

## ■春のキーワード「新生活」

続いては“春”です。気温が上がり始め、過ごしやすい日が増えてきます。穏やかな日もありますが、周期的に雨が降ったり、強風の日もあつたりするので、やはり天候面でも、一長一短のある季節です。

また、日常生活に変化が生じやすい季節でもあります。お仕事をされている方でしたら、異動などで職場環境が変わる可能性もあり、お子さんがいるご家庭でしたら就職・進学・進級などが生じます。

いずれにしても、慣れない新生活の中で、色々とお不便をお掛けする塗装工事が重なりますと、当店としても心苦しく、おすすめるは出来ません。春は天候以上にお客様の生活環境変化の有無をお考えください。

## ■夏のキーワード「暑さ」

そして“夏”。夏は良くも悪くも、やはり気温の高さにあります。

塗料の乾きが良くなるため、天候さえ良ければ作業が順調に進む一方で、夕立が起きやすい状況にもなります

ので、場合によっては作業時間が短くなる日も出てきます。

また、工事中は窓を養生する（ビニールで覆う）ため、窓を開けることが出来ません。冷房が苦手で、窓を開けて生活をされる方にとっては、工事を避けた方が良くもかもしれない季節となります。

## ■秋のキーワード「長雨」「台風」

最後は、“秋”について。春同様、過ごしやすい日が多く、工事のご依頼も増える季節です。

ところが、ここ数年“秋の長雨”が顕著となってきていたり、今年に関しては台風の接近が集中したりと、一概に塗装には良い季節とも言えなくなって来ました。

## ■天候のことを考えるよりは・・・

以上、各季節の特徴を天候面から大まかに挙げてみましたが、どの季節も一長一短があります。というわけで、残念ながら「塗装をするならこの季節が一番！」と断定することは難しいのです。

それでしたら、不確実な天候面から検討を進めるのではなく、ご家族皆様の生活の予定や、工事以外の出費予定

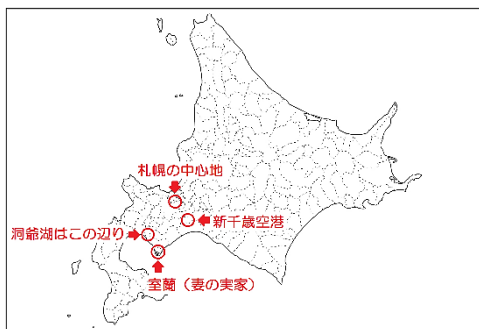
などから、時季をお考えいただくのが一番よろしいかと思います。



さて、話は変わります…ここからは長坂のプライベートのお話を。

今号では、前号で宣言しました通り、“夏”に行った北海道洞爺湖周辺のお話の続きです。(ますます季節外れになっています…すみません。また、今号が初めての読者の方へ…妻が室蘭出身で、年1回夏に帰省します。)

ちなみに洞爺湖の場所はここ↓。



前号では、洞爺湖のご紹介をしましたが、今号は湖周辺の見所をご紹介します。

## ■ 2000年に噴火『有珠山』

洞爺湖の南側にそびえ、今もなお噴気をあげている『有珠山』。目前には、

1943年の噴火活動で焔が隆起して出来た『昭和火山』もあります。

有珠山では、ロープウェイが運行されており、山頂近くまで登る事が出来ます。ロープウェイ乗車中、また山頂駅近くの展望台からは、洞爺湖・昭和火山を眺められます。



8月下旬の話ですが、天気が良くなかったこともあり、展望台付近の気温は約15℃。夏真っ盛りの時季に寒さ対策などはしてきていません。さすが“北の大地”北海道。

次女は寒いと言い、私のシャツを着ております。(私は私で、歩かない次女を肩車して歩き回っていたため汗だくでした…。)

なお、洞爺湖湖畔の『洞爺湖ビジターセンター』内には『火山科学館』があり、2000年の有珠山噴火で被害にあった軽トラックや線路などの実物が展示されています。

近代において、唯一、火山噴火予知の成功に至った経緯をまとめたV T

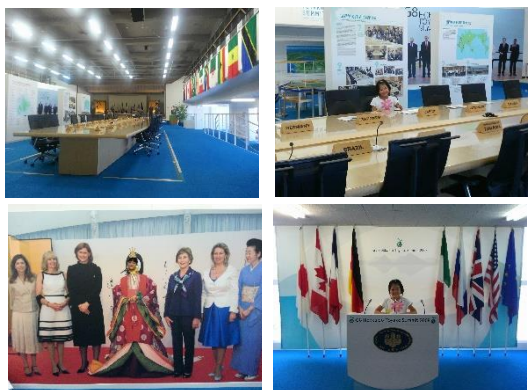
Rも上映されており、地学好きの方のみならず、見応えのある内容です。

## ■あなたも総理大臣気分！

今年、伊勢志摩でサミットが開かれ、大変話題になりましたが、前回の日本での開催地はご記憶にありますか？

そうなんです。開催地は『洞爺湖』でした。以後、その開催を記念して、湖畔に『サミット記念館』が設けられています。（入場料・駐車料金等掛からず、無料で入れます。）

各会議で実際に使用されたテーブルや椅子、パネルの展示だけですので、人によっては、ちょっと物足りないかもしれませんが、案外、我が家の子供たちには好評。椅子に座るのもOKで、片っ端から座ったり、パネルに顔を出したり、記者会見(?)してみたり…。



タダであれだけ楽しんでくれば、親としては願ったり叶ったりでした。

そんなこんなで、まだまだ見所はあるのですが、今回はここまで。また洞

爺湖へ訪れる機会があれば、ご紹介させていただきます。

## ■今年もお世話になりました

お世話になっております。上神谷です。今年も終わろうとしていますが、みなさまにとってはどんな年でしたでしょうか？

ぼくはといえば・・・毎年思うことですが・・・今年もたくさんのお客様に出会うことができました！数多くの塗装業者から当店を選んでくださったお客様に本当に感謝、感謝です。

来年になりますと、14年目を迎えるこのニュースレターが100号に！14年目で100号…月一なのにちょっと計算が違いますが…それでも、お客様の励ましのお声などに助けられてここまで書いてこられました。来年からは「紙面をマイナーチェンジ？」してより一層親しんでいただけるように、頑張っ書いてきたいと思しますのでよろしくお願い致します。では、良いお年をお迎え下さい。

~~~~~  
発行者 上神谷裕治（かみかべや ゆうじ）

記事 上神谷裕治、長坂利昭

住所 府中市紅葉丘1-1-15

TEL、FAX 042-365-1402

または 090-1504-8833

ホームページ <http://www.sanshouzi.com/>

